※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　地学基礎（東京書籍）						
副教材等	ビジュアルプラス地学基礎ノート改訂版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地学に関するより広い内容や高度な問題に対応できる力を身につけてください。
・実験、観察を通して、自然現象や宇宙に対する興味、関心や探究心を養ってください。
・授業中や授業後の課題を確実に提出し、復習を行うようにしてください。
・定期考査のほかに確認問題を行います。理解を深めてください。
・普段から地球環境問題、SDGｓ、自然現象を取り上げた報道、番組、動画など日常生活との関わりを意識しながら、学習を進めていきましょう。
・間違ってもよいからまずは自分の考えや答えを出してみましょう。

2　学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、 実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資 質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、 実験などに関する技能を身に付ける。
(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3)自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などをこない、科学的に探究できる。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	私たちの大地	地球の形と大きさ 地球の構造 地球内部の動きとプレート プレートの境界 地震のメカニズム 海溝・活断層の地震 津波とその被害	a:地球内部に層構造があり，その状態や構成物質が異なることが理解できている。活断層の位置の把握は地震被害の予防に役立つことを理解している。 b: 地球内部に層構造があり，その状態や構成物質などを説明・判断することができている c: 地球の形・大きさ・内部の構造について興味を示している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出レポート	提出レポート 実験レポート
	火山活動と地震	火山活動 噴火の多様性と火成岩 自然災害と防災	a: 地震・火山の存在については、地球内部に原因があることを実習などを通じて調べることができている。 b:火山噴火の多様性と岩石の関係について理解することができる。 c: 自然災害と防災について興味を示している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出レポート	提出レポート 実験レポート
２学期	宇宙の構造と進化	宇宙の距離の想定方法 宇宙の誕生とビッグバン 恒星の進化 銀河の集団と宇宙の姿 太陽系の誕生 惑星の特徴	a: 宇宙や天体を探る実習・観察・探究活動を通じて科学的な見方や考え方を理解・習得できている。 b: 太陽系の誕生および生命を生み出す条件が把握できており，地球の特徴を考えることができている。 c: 宇宙の始まりから現在までの時間の中で宇宙の膨張，ビッグバン，銀河の分布，太陽系の誕生について把握し，これらに関心・意欲を持っている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出レポート	提出レポート 実験レポート

※令和４年度以降入学生用

	地球の変遷と生物の進化	地層の形成 地質構造と変成岩 地球史の最初期 古生物の変遷 人類の進化	a: 地層や岩石の観察，実験を通じて過去におこった出来事やその形成などに関することを調べることができている。 b: 地層や岩石の観察，実験から地層が形成される仕組みと地質構造について推測することができる。地球環境の移り変わりと古生物の変遷が関連付けられて整理・理解できている。 c: 地層や岩石の観察，実験を通じて過去におこった出来事やその形成などに関することを調べようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出レポート	提出レポート 実験レポート
3学期	大気の構造と現象	大気の構造 地球の熱収支 気体の膨張と熱気球	a: 対流圏での大気の対流によってさまざまな現象が起こっていることを理解する。地球の熱収支は，地球全体でみるとつり合っていることを理解する。 b: 熱収支から温室効果となっているところはどこか考える。また，温室効果がなかった場合，地球表面の温度がどのようになるか考える。 c:気体の膨張から実生活において考察し、熱気球の原理と計算により実験で取り上げる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出レポート	提出レポート 実験レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度